

# AI時代の予防型リスク管理支援コンサルティング

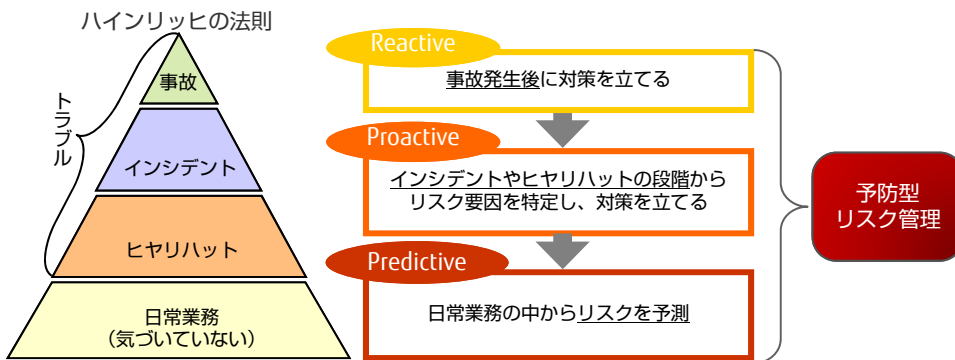
日常業務に潜むトラブルの芽を早期に発見し、リスクを予防するワークスタイルへの変革をご支援します

## リスク管理から予防型リスク管理へ

近年、製品のリコール問題、不祥事による信用失墜、個人情報漏洩、大規模システム障害、等々、業種や事業規模を問わず、品質や安全性に関わるトラブルが頻発しています。一度でもこのような事態が生じてしまうと、企業経営における損失は多大なものになります。そこで、日常業務の中からリスクを早期発見し、損失が起こる可能性を予測し、それに対応していく仕組み作りが必要と なっています。

リスク管理を考えるうえでよく語られるのがハインリッヒの法則です。「1つの事故の背景には、29のインシデント（軽微な事故）と、300のヒヤリハットがある」と言われています。リスク管理の観点からは、損失が起こる可能性のあるリスクをインシデントやヒヤリハットの段階で早期に発見し、損失を最小化するための対策を講じていくことが重要とされています。一方、インシデントやヒヤリハットの背景には、何が起るか気づいていない日常業務があります。もし、この段階で将来起こり得るリスクを察知し、損失が生じる可能性を予測することができれば、リスク管理はより万全となるはずで

本コンサルティングでは、従来のリスク管理の考え方に加えて、将来のリスクを予測し、未然に防止策を講じるところまでを含めて、「予防型リスク管理」と定義し、その実現に向けた取り組みを総合的にご支援いたします。



## リスク分析のためのリスクマイニング技術

現場で発生したインシデントやヒヤリハットの経過をレポート化して蓄積している企業は少なくありません。しかしながら、ほとんどのレポートはテキストで記述されており、大量になればなるほど人が読んで解析するのは難しいのが実情でした。

また、昨今では、あらゆるところに仕掛けられたセンサーにより、日常業務の状態をログとして蓄積することができるようになりました。さらに、ソーシャルメディアの発展により、インターネット上に利用者の口コミや評判で市場に出た製品の状況が流れるようになりました。ところが、こういった情報は絶えず大量に発生するため、そう簡単に扱うことができないのが実情でした。

しかしながら、リスクを分析するには、前述のような情報を有効活用することが不可欠です。そこで、本コンサルティングでは、先進のAI技術である「リスクマイニング技術<sup>\*1</sup>」を用いて、テキスト、センサーログ、ソーシャルメディアなど、大量の非定形データの解析を行い、「過去のリスク要因発見」⇒「現在のリスク監視」⇒「将来のリスク予測」と継続的に展開させながら、予防型リスク管理の実現を担います。

過去のリスク要因発見	現在のリスク監視	将来のリスク予測
過去の事例から典型的なリスクシナリオを発見し、再発防止に役立てる	今現在を監視し、リスクを早期発見する	過去の事例からリスク発生ルールを類推し、将来のリスクを予測する
<b>[分析技術]</b> ・テキストマイニング ・リスクシナリオ分析	<b>[分析技術]</b> ・ネガポジ判定 ・アラート通知 ・インフルエンサー分析	<b>[分析技術]</b> ・機械学習 ・リスクスコアリング



<sup>\*1</sup> リスクマイニング技術：テキストマイニング技術をベースに富士通研究所が開発した技術（リスクシナリオ分析やリスクスコアリングなどを含む）

## 予防型リスク管理コンサルティングサービス

リスク管理においては、「リスク情報収集」⇒「リスク分析」⇒「リスク評価」⇒「対策立案」⇒「対策実行」といった流れでPDCAサイクルを回していくことが必要です。そこで、本コンサルティングでは以下のコンサルティングメニューをご用意し、お客様のニーズに合わせて、PDCAサイクル全般のご支援をいたします。

- 予防型リスク管理の進め方コンサル  
お客様が予防型リスク管理の導入を検討するにあたって、最初の進め方を企画し、ご提案するサービス
- リスクマイニング事前検証  
お客様が期待する分析目的やゴールに到達できるかどうか事前にFit&Gapするサービス
- リスクマイニング預かり分析  
お客様の実データをお預かりして本格的なリスク分析を実践するサービス
- リスクマイニング分析環境構築  
お客様の業種やリスクの種類に合わせた専門用語辞書や同義語辞書、および、リスクシナリオルールを生成するサービス
- リスクマイニング分析手法教育  
リスクマイニングの分析手法やノウハウの教育サービス
- リスク評価支援コンサル  
発見したリスクを評価し、優先度付けをご支援するサービス
- 対策検討支援コンサル  
リスクの優先度に応じた対策立案をご支援するサービス
- データ収集診断コンサル  
効果的な分析を実施するために、現行のデータ収集方法や様式を診断のうえ、最適な収集方式をご提案するサービス
- 予防型リスク管理システム構築支援（SI上流）  
予防型リスク管理システムの構築に向けて、システム企画から要件定義まで実践するサービス



## 予防型リスク管理の対象となる業種・リスク種類・データ

リスクは、様々な業種の様々な業務に潜在しています。また、リスクの種類が変われば、分析データの対象も変わります。本コンサルティングでは、過去の実践経験に基づき、業種・リスク種類・データの組み合わせによるリファレンスモデルを数多く有しております。お客様のニーズに近いリファレンスモデルを活用することで、お客様が目指すゴールの早期具現化に寄与いたします。

業種 リスク種類	運輸	産業	エネルギー	金融	製薬・医療	公共
事故リスク	・事故レポート（交通/火事/爆発/原発等）					・重大事故レポート
製品リスク	・品質不具合レポート（設計/製造/保全等）					・リコール情報
市場リスク	・顧客の声、ソーシャルメディアの口コミ/評判情報、News記事					・住民の声 ・紛争/テロ情報
医療リスク						・医薬品・医療機器安全性情報
災害リスク	・自然災害情報、労働災害情報					
ITリスク	・システム障害情報、ヘルプデスクの問い合わせ情報					

このカタログに掲載されている内容については、予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

2016年9月改版

### お問い合わせ先

#### 株式会社富士通総研

コンサルティング本部 ビジネスサイエンスグループ  
〒105-0022 東京都港区海岸1-16-1 ニューピア竹芝サウスタワー  
TEL:03-5401-8394